— 人と環境をまあるくつなぎたい —

エイト技術 株式会社

所在地：〒031-0072 青森県八戸市城下二丁目9-10
TEL　：0178-47-2121
FAX　：0178-46-3939
URL　：http://www.eito-eng.co.jp/
従業員：82名
設立　：昭和45年
代表者：代表取締役社長　佐藤富夫

グレットタワーみなと（八戸市）

主な土地区画整理事業施工地区

世増ダム湖展望テラス（南郷村）

本社社屋

えんぶりっぢ（八戸県土整備事務所）橋長=296m　幅員=12.5m

八戸港沼館1号護岸の決壊状況と打ち上げられた台船（被災当時）

沿革・会社概要

当社は昭和45年6月、当時八戸市役所に勤務していた現在の社長が創業し、43周年を迎えました。

創業以来、社長の姓である「佐藤」を付した社名で佐藤測量～佐藤技術（株）と歴史を重ねて参りましたが平成22年4月、新規一転、社業充実を図るため社名変更を行い、現在のエイト技術（株）となりました。

東北6県を主たる営業エリアとし、建設コンサルタントとして官公庁をはじめ民間団体、企業等幅広くお手伝いさせて頂いております。

8（エイト）部門の技術

当社社名のエイトは次の部門の技術です。

1. **都市整備**：区画整理、市街地整備、公園緑地等の設計、監理　生活権の源を造形します。
2. **一般土木**：道路、橋梁、構造物等の計画及び設計、監理　安全とより良き姿形を追求します。
3. **上下水道**：上水道・下水道の計画及び設計、監理　快適なインフラ整備を追及します。
4. **河川・防災**：河川・土砂災害・地すべり・ハザードマップ等の計画及び設計　災害に強い地域社会の形成に向けて取組みます。
5. **農林・漁港**：農道・用排水・漁港整備等の計画及び設計、監理　農林・漁港のより良い環境造りを追求します。
6. **森林土木**：森林土木等の設計・国有林及び保安林各種申請等　緑豊かな森林の保持に努めます。
7. **調査**：地質調査・さく井工事・各種試験等　地球の奥深さを探ります。
8. **公共測量・補償**：一般測量・用地測量・建物等移転補償・建築設計、監理　計画の原点を探り開発と移転の調和を図ります。

業務の実績

当社の業務は前述の通り多岐に渡っておりますが、測量や補償業務、地質調査等、直接的に形に表れない分野も多く、ここでは一般土木の完成したものを写真で紹介致します。

資格の取得

当社では、業務遂行に必要とされる資格の取得者を優遇すると供に、資格取得に必要な時間、経費を援助する規程を設け、社員がそれに挑戦しやすい環境を整えております。その結果、規定に則り技術士やRCCM、補償業務管理士等の資格を取得した社員が数多くおります。

品質と環境への取組み

私たちは来るべき時代を見つめて、青森県内では業界の先頭をきってISO規格の認証取得に取組んで参りました。

平成10年に品質マネジメントシステムISO9001を、平成13年に環境マネジメントシステムISO14001をそれぞれ認証登録し、品質方針に「起業者に対する最高のサービス」を定め、より良い成果を安く、早くを目標に、更に環境方針に「環境法規に従い汚染予防に努める」を定め、その運用を効果的に継続的に実行しております。

土地区画整理

社長が市役所勤務時代に都市計画、土地区画整理関係を担当していたことから、創業時代からこの分野の業務が多く、八戸市内をはじめ青森、岩手両県の各地でこれを手がけて参りました。時代の流れと共に、その業務量は減少しましたが、当社の得意分野として、現在も津波被災地の復興事業に携わっております。

東日本大震災の大津波

平成23年3月東北地方を襲った大津波は、岩手、宮城、福島の沿岸部に甚大な被害をもたらしました。これら3県の被害があまりに甚大であり、我が八戸市の被害状況は多く報道されませんでしたが、被災調査を委託され沿岸部を廻ったところ、港湾施設の被害がものすごく、津波の破壊力に唖然とするばかりでした。

離岸堤防の姿がない、岸壁が無くなっている、石油基地が泥だらけ、大型漁船が岸壁の上にドーンと居座っている。三陸の被災地のようなガレキは少ないものの、目に見えない海中での被害は計り知れないものがあると実感しました。

被災地復興事業はこの2年余り、その鈍化が指摘されておりますが、我々建設コンサルタントの立場として、直接被災された方々にお会いしてお見舞いは申せないものの、間接的にお役にたっているものと自負し、今後も被災地復興のため努力していかなければと思っております。

（文：総括部長　佐藤 健）